

オンライン「超入門！学級経営セミナー」で出た好意見

第4回分

★セミナーの中で素晴らしいノウハウがたくさん集まりました！学生さんや若手の先生の助けになればと思い、シェアします！

「活躍の機会の確保・学級の自治」に関する指導

・全体を見ることができる児童の活躍の場の確保→体育の体操、ウォーミングアップの企画、歩行学習のSSTとして行う遊びの準備、図書の時間の読み聞かせ。

★河村コメント：特別支援学級において、様々な活動の企画に児童を参与させている事例です。異学年で「年上が優しく支援してくれる」「年下にリーダーシップをとる。胸を張っていられる」という二重の支援が活動に内在されています。

・体育→全単元を見通して、授業の最後に発表の時間を設けている。あらかじめ人を決めておき、全員に発表機会があるようにする。そして相互に称賛する。

★河村コメント：能力差が大きい特別支援学校での例です。個々に応じつつ全員に活躍の機会を設け、さらにそれを相互称賛の練習に活用している好事例ですね。

・朝の会の進行役を決め、カードをめくりながら司会をする。そして朝の会の各項目ごとに人数分の役割がある。（例：朝の歌です。〇〇さんお手本をお願いします）→カードが集団側に見えるパターンもある。

・グループのリーダー（挨拶、出欠確認、話合いの進行役などを担う人）を毎週輪番で全員の児童にさせています。

★河村コメント：朝の会は司会だけの活躍になりがちですが、司会から全員に仕事を振ることで、全員が活躍し、活動の流れに参加できる仕組みになっています。司会の台本カードの裏側が他の子に見える支援策（絵、写真など）になっているバージョンもあるようです。

・よい行動に対して教師が花丸磁石を貼りますが、特定の人だけに貼ると不満が出ることがあります。そうなった際、自分のよかったところまたは友達のよかったところを発表できたら花丸をあげています。

★河村コメント：良い行動への肯定的なフィードバックに加え、「良い行動を発表した」という行動にも花丸をあげています。教室が温かい言葉で埋め尽くされることでしょうね。

・失敗に対する不安、情緒の不安定さなどから、小集団での活動になかなか参加できない児童がいます。事前に個別で授業内容を伝え、できそうな参加方法を児童と相談。場を仕切ったり何かを説明したり、アイデアを考えたりするのが得意な子なので、活動の審判やルール説明、友達のよいところを見つけて記録する、活動がクリアできたらどうするかレベルアップステージの案を考えるなど、その時々にあった役割をしてもらっています。

★河村コメント：ゲームへの参加ができずとも仕切りや審判ができる子もいます。全員が一律の参加のスタイルとするのではなく、その子が活躍できるタスクを探す教師の目が必要ですね。この例では完全に参加できずとも「良いところの記録」というタスクを用意しています。例えば病気で運動ができず、体育が見学となっているケースでも、このような活躍の機会が考えられますね。

・帰りの会にて「帰りの確認」下校先の確認を児童同士で行っている。

★特別支援学級・学校では、話し合いや仕切り役のような複雑な活躍の場面を設けることが不適切であることもあるでしょう。ルーティーン化しやすいこのような活動の場合、活躍の機会を設けられる子が増えそうですね。

・お楽しみ会が学期ごとにある→その企画、進行などを児童同士で議長を決めて話し合う。

★河村コメント：通常学級で学級経営の困難性が高いケースでは、行事に結び付けてクラスを上手にまとめる先生がいます。イベントへの期待を活躍につなげれば、相対的に問題は減っていきます。

事例検討（個人情報その他の観点から、脚色しています）

「書きの困難が多少ある児童が教室を飛び出すケースが多い学校に、どのようにアドバイスする？」

・鉛筆を持つことが苦手では？持ちやすいようサポート教材はある？その子が字を書くことが面白いと思えるように指導したい。

・苦手な子の「お助けスペース」を確保し、個々に支援する。

・書いた後に遊びなどのリラックスタイム。飛び出ると参加できない。教室にいたらメリットがある。

・筆記をタイピングに置き換える。それで離席しない状況を作り、称賛する。集団に対しても筆記量に対して視覚的に評価し、さらにゲームを行う。飛び出す子が興味のあるテーマでの筆記課題で成功→称賛の機会を稼ぐ。

・書きの困難の理由を考え、参加にメリットを伴わせる。教室で書けないのであればビンゴで野球の選手やチームなどを書かせるなど、趣味を使う。タブレットなどを用い、筆記にこだわらず、表現をさせ、内容理解に特化した指導目標を設定する。

・課題から逃れている場合、課題難度を一度下げ、低い目標設定を行う。その子のレベルに応じて補助の手段を考える。飛び出す子への模倣や、飛び出した子への注目が生じていないか。飛び出しの原因を探るべきだ。